

かわの義博 活動レポート

(発行元)

河野義博後援会
〒810-0045 福岡市
中央区草香江1-4-34
エーデル大豪202号
TEL 092-753-6491
FAX 092-753-6492

教員拡充で質高い教育を

浄化槽・再エネの海外展開を訴う



参議院文教科学委員会で質問に立つ

3月23日の参議院文教科学委員会で質問に立ちました。発達障がい児支援や少人数指導などを担う教職員定数の多くが、これまでの暫定的な「加配措置」から児童・生徒数にに応じて自動的に決まる恒久的な「基礎定数」に転換されることについて、質の高い教育や教員負担の軽減につな

がると評価。そのうえで地域によって「二層の少人数化の要望がある」と指摘し、今後の取り組みを質しました。松野文科大臣は「自治体のニーズを踏まえて検討する」と答えました。また、いじめや貧困などの解決へ、学校と専門人材との連携の必要性を強調しました。これに対して、文科省は部活

動における外部人材やスキルソーシヤルワーカーなど専門家の配置を進めていく考えを示しました。一方、政府開発援助(ODA)特別委員会では、ODAの

その一例として、途上国の衛生環境改善のために、我が国の有する浄化槽の高出技術の海外展開すべきと述べました。さらに、再生可能エネルギーと組み合わせ合わせた衛生改善プロジェクトを提案しました。

質を高めることが日本の国益にもつながると主張し、「選択と集中」を厳しく行うべきだと訴えました。



3月27日 国会内

安倍首相の表敬を受ける 17年度予算が成立

生活困窮者の自立めざす

認定NPO法人「抱樸」が運営する自立支援住宅「抱樸館北九州」を2月10日に視察しました。同施設では、生活困窮者の入居受け入れをはじめ、24時間体制での日常生活のサ

ポートや見守りを実施。自立生活の実現に向けた支援やデイサービスへの提供も行っています。生活困窮者の住まいと暮らしを確保する素晴らしい取り組みであり、今後、こうした居住支援を全国展開していきたいと考えています。



抱樸館北九州の視察

陸前高田市で復興状況の説明を受ける



人間の復興へ総力 岩手で復興会議 安定した生活 再建へ

大震災の発生から6年。3月12日、岩手県陸前高田市で「東日本大震災復興会議」を開催して、「人間の復興」へ総力を挙げることを誓い合いました。

現地視察では、愛宕山の造成地に整備予定の「8号緑地」(高さ80m)から、かさ上げ作業中の今泉地区の復興状況を確認。熊谷・市復興局長からは、今年4月から災害住宅で入居が始まるため、「商店施設や交通インフラの整備が急がれる」との要望を受けました。これに対して、「1日も早く安定的な生活が再建できるよう、引き続き、復興支援に取り組む」とお約束しました。

両国交流の活発化へ ウズベキスタン大使と会談



2月20日 文教科学委員会の視察にて

ノーベル賞受賞者、 大村智博士と懇談

山口代表と共に、ウズベキスタンのファルフ・トゥルスノフ駐日大使と会い、両国交流の活発化に向け意見交換しました。席上、トゥルスノフ大使は、同国のシャフカト・ミルジヨエフ大統領が、考古学者の故・加藤九

祚国立民族博物館名誉教授(創価大学名誉教授)を顕彰する記念館を設立すると提案したこと、言及。実現へ日本の協力を求めました。これに対して、「設立に賛同する」と述べ、一層の交流を深める拠点になり得ると期待を寄せました。



トゥルスノフ大使の表敬を受ける

かわの義博 プロフィール

昭和 52年 12月 福岡市生まれ
平成 8年 3月 福岡県立修猷館高校卒業
平成 14年 3月 慶應義塾大学経済学部卒業
平成 14年 4月 株式会社東京三菱銀行
平成 18年 4月 丸紅株式会社
平成 25年 7月 第23回参議院議員選挙比例代表初当選
家族：妻、3女 趣味：読書 特技：剣道6段(全日本剣道連盟顧問)

(役職) 参議院：決算委員会理事 公文党：国会対策副委員長
文教科学委員会委員 福岡県本部副代表
ODA 特別委員会理事 沖縄方面副本部長
資源エネルギー調査会理事 新エネ・再エネ促進小委員長

(国会事務所) 〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館720号 TEL: 03-6550-0720 FAX: 03-6551-0720
(福岡事務所) 〒810-0045 福岡市中央区草香江1-4-34
エーデル大塚202号 TEL: 092-753-6491 FAX: 092-753-6492

公式HP: <http://kawano-yoshihiro.com> メルマガ登録: kawano@g.blayn.jp